

シルバー



さかい

冬季号

2025年(令和7年)1月  
第150号




(公社)堺市シルバー人材センター  
〒593-8325 堺市西区鳳南町4丁444-1  
TEL 072(260)0468  
FAX 072(274)8801  
<https://www.sakai-sjc.or.jp>



### 新春を寿ぐ

新春にふさわしい華やかな折り紙は、当センターの自主サークル「折り紙教室」を指導されている石飛善衛先生から提供されたものです。「折り紙教室」は、小野弘子代表を含め10人で活動しています。(8ページに関連記事)

### 冬季(150)号の見どころ

-  入会説明会&桑原征平トークショー …… 5ページ
-  折り紙教室 …… 8ページ
-  『シルバーさかい』150号の発行にあたり …… 11ページ





# 新年のごあいさつ



理事長  
河村 寛之

新年あけましておめでとうございませう。皆さまにおかれましては、ご家族共々健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中はシルバー事業全般にわたり、格別のご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

当センターでは、昨年新たな取組みとして、市民の皆さまに広くシルバー人材セン

ターを認知していただくことを目的に、入会説明会と著名人による講演会を組み合わせた企画を実施し、多数の方が当センターに入会されました。その成果もあり、徐々にですが会員数や契約金額が増加傾向になってきており、これも会員の皆さまのご尽力と事務局職員の努力によるものと心より感謝申し上げます。

本年度で「第4次シルバーワールドプラン(中期計画)」が最終年度となることから、新たに令和7年度から11年度までの5カ年を対象とした「第5次シルバーワールドプラン(中期計画)」を策定しているところと、超高齢社会を迎え、健康で元気に高齢者が増加する中で、就業に対するニーズも多様化していくことが予想され、シルバー事業はますますその役割を果たすこと

が期待されています。

皆さまにおかれましては、引き続き真摯な仕事ぶりを通して地域社会からさらなる信頼を得られるとともに、個人情報保護の適正な取扱いを遵守していただき、円滑な事業運営にご協力くださいますようお願い申し上げます。

また、当センターではウェブ入会システム、会員クラウドサービス(月々の配分金明細やセンターからのお知らせの閲覧など)を取入れていきます。引き続き会員のデジタル技術の向上を図るため、スマホ講座の実施などに取組んでいきます。

結びに、令和7年が皆さまにとりまして実りの多い年となりますよう心から祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



堺市長  
永藤 英機

あけましておめでとうございませう。新しい年の始まりを健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

堺市シルバー人材センターにおかれましては、地域を支える存在である会員の皆さまへの就業機会の提供を通じ、高齢者の生きがい創出や福祉の増進に尽力いただいていることに感謝申し上げます。

また、会員の皆さまには子どもの見守りや公園・スポーツ施設の維持管理、地域の清掃ボランティアなど様々な場面でいきいきと活動されていることに敬意を表します。

堺市では、市政運営の大方針である「堺市基本計画 2025」において、重点戦略に「人生100年時代の健康・福祉」を掲げ、「健康で長生きできる都市」や「高齢者が住み慣れた地域で心豊かに暮らし続けられる社会」の実現に向けて取り組んでいます。

本年4月にはいよいよ「大阪・関西万博」が開幕します。大阪ヘルスケアパビリオンでは、「いのち」や「健康」の観点から未来社会の新たな価値を創造する技術や取組みが世界に発信され、健康や長寿への関心

が一層高まることを期待されます。

本市では、この貴重な機会を更なる都市魅力の向上や地域活性化など堺の成長・発展につなげたいと考えています。

これからも市民の皆さまが安心して暮らし続けることができ、将来にも夢と希望が持てる都市であるために力を尽くします。で、「歴史」のまち堺から「未来」を創る本市の挑戦に今後ともお力添えをいただきたいと思います。

結びに、堺市シルバー人材センターの更なるご発展と、本年が皆さまにとって幸多き素晴らしい年となりますことをお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

150号目次

新年のごあいさつ …………… 2	入会説明会&桑原征平トークショー …… 5	区民まつり …………… 9
堺税務署からのお知らせ …………… 3	委員会だより …………… 6~7	史跡・野山を歩く会 …………… 10
事務局からのお知らせ …………… 3	折り紙教室 …………… 8	150号の発行にあたり …………… 11
福祉・家事援助サービス総合研修会 … 4	町おこし探検隊からのお知らせ …… 8	頭の体操 …………… 12

堺税務署からのお知らせ

確定申告会場は**大変混雑**します。  
確定申告は**スマホ**を使って**ご自宅からe-Tax**で！！

e-Taxの5つのメリット

<p>自宅から</p>  <p>申告可能</p>	<p>確定申告期間の利用可能時間</p>  <p>24時間※いつでも</p> <p><small>※メンテナンス時間を除きます</small></p>	<p>申告書のデータ</p>  <p>取得可能</p>
<p>添付書類</p>  <p>不要※</p> <p><small>※一部の書類は除きます</small></p>	<p>還付金</p>  <p>早期還付</p>	<p>3週間程度で還付！</p> <p>書面提出の場合は 1か月～1か月半程度で還付</p>

○ 令和6年分確定申告会場のご案内 (※専用の駐車場はありません)

開設場所	開設期間(土・日・祝日を除く)	備考
堺地方合同庁舎9階	① 2月10日(月)～2月14日(金)	相談受付の締切時間は16時です。 混雑状況により早めに相談受付を終了する場合があります。
	② 2月17日(月)～3月17日(月)	

- ※ 受付時間は、8時30分(相談開始は9時)～16時ですが、早めに相談受付を終了する場合があります。
- ※ ①の期間は、税理士による申告相談を行っております(土地・建物・株式等の譲渡所得、贈与税、相続税の相談は行っていません。)。土・日・祝日は開設しておりませんが、3月2日(日)のみ開設します。
- ※ 令和7年1月から、申告書等の控えに収受日付印の押なつを行いません。申告書等を書面で提出する際には、申告書等の正本(提出用)のみを提出(送付)していただきますよう、お願いします。また、申告書等の提出年月日は、必要に応じて、ご自身で記録・管理をお願いします。

来場をお考えの方へ

次回以降の確定申告をスムーズに行っていくため、確定申告会場では**ご自身のスマホを利用した申告をご案内**しています。

- ※ 確定申告書をスマホで送信するためには、マイナンバーカードのほか、次のパスワードも必要です。
- ・利用者証明用電子証明書(数字4桁)
- ・署名用電子証明書(英数字6文字以上16文字以下)

事務局からのお知らせ

配分金基準額の改定について

会員と発注者との間に雇用関係が発生しない「請負・委任」業務におけるシルバー人材センターの配分金基準額については、従前より大阪府の最低賃金を参考に、理事会にて決議のうえ改定してきました。

今般、令和6年10月1日に大阪府最低賃金時間額が改定されたことを参考に、また「地域での就業を通じて生きがいの充実と福祉の増進に資すること」を目的とする当

センター会員の位置づけを勘案し、令和6年度第4回理事会にて決議されたため、令和7年4月1日から配分金最低基準額を1,064円から1,114円に改定します。

それに伴い1,114円を上回る一部職種についても基準額を改定します。配分金の詳細については当センター事務局までお問い合わせください。

# 令和6年度 福祉・家事援助サービス

## 総合研修会のお知らせ

京大卒大道芸人がお届けする笑いあふれる講演会  
 笑い与健康について楽しく学ぶ  
 たっきゅうさんの  
 ユーモアセラピー

チラシ配布します

- ◎シルバーに仕事を依頼したい方
- ◎シルバーで仕事をしたい方



- 内容 大道芸・笑い与健康・笑いの体操の三部構成
- 時間 約90分
- 特徴1 健康長寿の秘訣をユーモアを交えて解説!
- 特徴2 大道芸や体操もあり!眠くならない講演会

- 日時 令和7年2月14日(金)14:00~16:00  
 ※13:30より受付開始
- 場所 堺市総合福祉会館 6階大ホール  
 堺市堺区南瓦町2番1号  
 (南海高野線「堺東駅」下車700m)
- 申込 当センター本部 072-260-0468  
 (担当:竹下)
- 締切 1月31日(金)



家事援助サービス班員優先の研修会となりますが、それ以外の会員の方やそのお友達などにもご参加いただけます。参加希望の方は、上記本部までお電話ください。ただし、満席の場合にはお断りのご連絡をさせていただく場合もございます。ご了承ください。

# 入会説明会 & 桑原征平トークショー

## 1部 入会説明会



10月18日(金)午後1時半から堺区の堺市総合福祉会館で、当センターの「入会説明会 & 桑原征平トークショー」が開催されました。

「堺市内在住の60歳以上で2部構成のすべてに参加する」の条件で集まった約370人が、DVDなどを使った入会の説明や元関西テレビアナウンサーの桑原征平さんのトークに耳を傾けていました。

1部の入会説明会では、当センターの概要を15分ほどのDVDで紹介した後、会員代表として赤松群治理事と瀧上とく子理事が登壇し、川島

晃子総務係長の司会で会員の活動について体験談を披露しました。  
81歳の赤松理事が「人生100年時代、共に頑張りましょう!」と自ら年齢を明かすと、すかさず「私も同じ歳です」と瀧上理事が声をかけるなど、安心して入会してもらえよう参加者に呼びかけていました。



## 2部 桑原征平トークショー



2部は、今年80歳を迎えた京都市出身でフリーアナウンサーの桑原征平さんが約1時間のトークショーで、会場を笑いの渦で包み込みました。

桑原さんは25歳で関西テレビのアナウンサーになり、看板アナウンサーとして35年間勤めて定年退職。その後はABCラジオの「桑原征平 粋も甘いも」や「征平・吉弥の土曜も全開!」などに出演中で、20年になるそうです。

トークショーの冒頭で、桑原さんは参加者に対し、「退職後に自宅で長く過ごすより、人材センターに入会して人に喜ばれる仕事をしながらお小

遣いももらい、そして家族との融和を図ることが大事」と、入会を推奨されました。

そして、自分の育った家庭環境や体験した苦労話のほか、阪神大震災で被災した人たちに教えられたこと、さらに芸能界でのエピソードなどを交えながら、「人間は経験や訓練で人に対する思いやりが出てくる」と語り、人・物・地球に対しても「人間は生きていく間は思いやりが必要」と、強調されていました。

当センターの入会説明会は毎月2回ほど開催されていますが、トークショーのようなイベント抱き合わせの開催について、本部事務局の吉村佳明事業課長は、「参加された市民の皆さまの笑顔が印象的でした。当センターで初めてのイベント開催としては、大成功だと実感しております」と、その成果に満足されていました。

ちなみに、この日の入会希望者は75人でした。

(取材 高岡)

# 委員会だより

## 総務委員会

本年度 当委員会での検討実施事項



委員長  
沢上 とく子

- ①会員の拡大
- ②サークル活動の促進
- ③啓発ポスターの有効活用
- ④地域班・職域班を越えた会員交流の促進、そしてサークル活動の活性化など

会員の皆さまが楽しい時間を持つことも大切なことと思ひ、声かけをし会員の安全と健康そして仲間づくり、会員の増員などに取り組み、頑張りたいと思ひます。

### 女性いきいき推進会議においては

- ①美容講座の実施
- ②スマホ講座の実施
- ③他市シルバー女性会員との合同交流会の実施

## 安全・適正就業委員会



委員長  
時本 幸治

安全・適正就業委員会では、“傷害・賠償事故を会員皆さまの力で無くしたい”との願ひで、会員の「安全意識」と「事故を減らすための意識」のますますの高揚を目指し活動しています。

そのため、当委員会では主に次の内容を重点事項として取り組んでいます。

- ①自転車安全運転講習会の開催
- ②安全強化月間の設定
- ③安全パトロールの実施
- ④事故原因分析と対処法の検討
- ⑤事故を減らすため他委員会および各グループとの連携

当委員会として特に重点的に取り組んでいるのは、令和4年度から継続して実施しております「自転車安全運転講習会」の開催です。

自転車は手頃な移動手段としてわれわれの日常生活と切り離せなくなっています。それに伴ひ自転車事故は増加傾向で、事故を少しでも減らしたいとの願ひから、多くの会員のご理解と参加をいただき、各警察署から講師をお招きし講習会を開催してきました。

## 事業委員会

当委員会の活動目標は下記の3項目



委員長  
藤原 富之

- ①会員の資質および能力の向上に関する事
- ②会員の就業機会の拡充に関する事
- ③未就業会員の把握および分析に関する事

### 下記の実施および検討をしていきます

①今年度のスキルアップのための研修会を植木剪定班対象に、ブロック別に今年の1月から3月に実施予定です。講師は世話人さん、外部講師に依頼します

また、編みぐるみ作りの講習会も中・南分室で9月10日、19日、10月9日に実施しました

②就業機会拡大のための会議を10月23日に高齢会員への対応と新たな就業先の開拓などを検討しました

③未就業会員についてブロック別に検討しています  
新入会員説明会をパワーポイント(就業開拓員の中田義郎さん作成)を使って7月から実施しています。  
これからも会員のスキルを向上して、楽しく働ける就業先を確保して生きがいを感じてもらえるように検討していきます。

今後も職域班単位で開催支援し「安全意識・自転車マナー」を高めていただき「事故ゼロ」を目指して活動することとしていますので参加をお願い致します。

### ◎下表は年度別事故発生件数と賠償事故件数です 全員で“ゼロ化”を目指しましょう

発生年度	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
就業中の事故	17	18	19	22	26
途上の事故	12	11	11	7	8
合計	29	29	30	29	34
賠償事故	11	11	11	12	13

※数字は総会資料より転載

# 委員会だより

## 安全・適正就業委員会

### 自転車の「ながらスマホ・酒気帯び」の罰則強化される

道路交通法が令和6年11月に改正され、自転車の危険な運転に新しく罰則が整備されました。

- 運転中の「ながらスマホ」の禁止
- 酒気帯び運転および幫助の禁止



#### 運転中のながらスマホ



スマートフォンなどを手で保持して、自転車に乗りながら通話する行為、画面を注視する行為が新たに禁止され、罰則の対象となりました。

※停止中の操作は対象外

違反者は、  
**6月以下の懲役又は10万円以下の罰金**

交通の危険を生じさせた場合、  
**1年以下の懲役又は30万円以下の罰金**



#### 酒気帯び運転および幫助



自転車の酒気帯び運転のほか、酒類の提供や同乗・自転車の提供に対して新たに罰則が整備されました。

違反者は、  
**3年以下の懲役又は50万円以下の罰金**

自転車の提供者は、  
**3年以下の懲役又は50万円以下の罰金**

酒類の提供者・同乗者は、  
**2年以下の懲役又は30万円以下の罰金**



「運転中のながらスマホ」、「酒気帯び運転」は  
自転車運転者講習制度の対象になります。

### 自転車運転者講習制度

自転車の運転に関し、交通の危険を生じさせるおそれのある一定の違反(危険行為)を反復して行った者は講習制度の対象となります。※受講命令違反 5万円以下の罰金

**危険行為** 信号無視、指定場所一時不停止、遮断路切立入り、安全運転義務違反、通行区分違反 など

重大事故を防ぐため、交通ルールを遵守しましょう。

## 折り紙教室

やっと秋らしさを感じ始めた10月21日(月)折り紙教室を取材させていただきました。

この日は7人で、玉のれんを作りました。色とりどりの折り紙を幾重にも折り色のバランスを考え、何枚も合わせて1個のそろばんの玉形を何個も作り、それとビーズ玉を交互に色のコントラストを考え紐に通していきます。

そろばんの玉形に紐を通す穴を開ける作業は難しく、皆さんでいろいろ工夫し助けあいながら楽しそうに仕上げていました。



折り紙は世界各国で古い時代から自然に始まったと思われます。

日本では室町時代に武家が、神社や仏閣へのお供え物や他家への贈り物を和紙で美しく折り飾っていく礼儀が折り紙の起源とされています。その後、江戸時代(1700年)ころから紙が手に入りやすくなり、広く庶民にも広まったようです。

石飛先生が折り紙を始めたのは、子どものころ遊ぶ物がなかったので、手近にあった新聞紙でいろんな物を折り楽しんでいたのできっかけになったとおっしゃっていました。広い場所も取らず、いろんな紙を利用して楽しめ、指を動かすことは、脳の広い範囲に刺激を与え、子どもたちには情緒を育むのに役立ち、また、私たちの年代には認知症予防にもなると多く聞きます。

すばらしい折り紙文化をこれからも楽しみながら、受け継がれるといいですね。

### 折り紙教室

- 開催日 月1回(第2月曜日)10~12時
- 場 所 本部会議室
- 連絡先 小野弘子(072-251-1209)
- 自由参加、無料、折り紙は自前

### 【参考】

日本折り紙協会  
ホームページ

(取材 植尾)

## 第58回「町おこし探検隊」からのお知らせ

各ブロックで輪になって親睦を深め、健康の増進と仲間づくり、ブロックの交流も深めて楽しみましょう。

### 【行先】

浜寺公園で桜の花見

### 【日時】

令和7年4月6日(日)

10時集合(雨天中止)

### 【集合場所】

浜寺公園内 噴水広場前

○南海本線 浜寺公園駅西出口から徒歩3分

○阪堺線 浜寺駅から徒歩1分

### 【駐車場】

有料

### 【参加費】

無料

### 【参加申込】

4月3日(木)までに各ブロックの

会員親睦会役員までお申込みください

浜寺公園は、明治6年完成の日本最古の公園です。園内には約4千本の黒松があり、バラ園も無料で楽しめます。

## 第57回「町おこし探検隊」に参加して

東ブロック 福島 信子  
コロナ禍で中断していた町おこし探検隊を5年ぶりに11月22日(金)に開催することができました。

秋晴れの中65人の参加会員と、天王寺周辺の歴史とほんのり色づいた木々に秋を感じながら散策し久しぶりの会員同志の再会に「てんしば」での話が弾んでいました。この雰囲気は次回へと続くことを願っています。

多くの会員の皆さまにご協力いただき感謝申し上げます。



秋の区民まつりにシルバー人材センターが参加したのは、北区、美原区、南区の三カ所です。北区は雨で中止になりましたが、美原区(20回)と南区(25回)は好天に恵まれ、会場は集まった市民でたいへん賑わいました

南区ふれあいまつり

「第25回南区ふれあいまつり」が11月10日(日)に南区役所に隣接する西原公園グラウンドで開催され、本部から河村理事長や吉村事業課長が訪れました。

会場には昨年より7店多い53のブース「19の校区(地区)模擬店と34の協力出店団体」が設けられ、好天に恵まれて昨年以上の賑わいでした。当センターは柳ブロック長をはじめ、地域委員と家事援助サービスマスの女性6人を含む21人が、7時半に集合して準備をしたのですが、皆さん慣れていたので手際良く、店構えが予想以上に早く整って開幕までの時間を持て余し



たそうです。

今回は、柚子みそ50個、大福餅150個、おはぎ50個、焼きよもぎ餅200個の4種類と、当センターをPRするリーフレットとウエットティッシュを用意してスタンバイ。開会のセレモニーが終わると、さっそく品物を求める客で各ブース前は混雑していました。

責任者の柳ブロック長は、「北区の区民まつりのように雨で中止になる場合を想定すると、仕入れの数量に苦慮しました」と、舞台裏を語ってくれました。

お世話をされた会員の皆さまのご苦勞が報われることを願いながら会場を後にしました。

(取材 高岡)

みはら区民まつり

令和6年11月3日(祝日)秋晴れの中、「第20回みはら区民まつり」が開催されました。今年も美原町と堺市の合併20周年の記念となり、美原区の堺市総合防災センターにて盛大に行われました。

前日の大雨は、どこへいったかと思うほど良い天気になりました。会場には48のブースが並び、当センターは、焼き餅、わらびもち、それに着物をリメイクしたエコバックなどの販売でした。

輪投げ、くじ引きなどの子どもたちに人気の場所は行列ができ、おでんや、焼き

そばなどのお店は、早々と売り切れが出るほどの賑わいで、皆さん楽しんでいらっしゃる様子がいっぱいです。

大きなステージでは、出演者団体の発表会が華々しく盛況で、美原こども園のダンスをはじめ、11団体が出演しました。私も太極拳で参加して気持ちも晴々と、さわやかな1日になりました。

美原地車連合会の「だんじり」が展示され、15時から会場内で曳き手と一体となった躍動感あふれるパフォーマンスが始まるなど、最後まで盛り上がりを見せていました。

(取材 杉田)



同好会

史跡・野山を歩く会

天川村を歩く

酷暑の都会を抜けて  
一路、天川村へ!

美原ブロック 原田 憲治

9月13日(金)、中型のバスを貸し切り、三国ヶ丘駅近くの乗車ポイントで10人が乗り込み、7時過ぎに美原ビバモ

ル側で15人が合流。今回は「歩く会」に新しく加入した5人を含む総勢25人(6ブロック)が参加しました。  
バスの中では、こぼれる笑顔でさつそくの歓談。お菓子類が回され、引沼会長のあいさつも



福々しさが振りまかれる。  
美原インターから南阪奈道を経て、深い木々の緑に覆われた「くねくね道」を登ったり下ったりと、いくつもの山越えと時折のトンネルを抜けると「黒滝村道の駅」に到着。ここでトイレ休憩と弁当を購入し、名物の串こんにやくを味わう。ここから1時間弱で洞川に到着しました。

洞内ではヘルメットを被り、都会では味わえない涼しい世界を満喫しました。次に「行者さん通り」を散策した後、エコミュージアムセンターで合流して、館内と川横の東屋の中でお楽しみ「お弁当タイム」を久しぶりに堪能しました。

鍾乳洞は山の中腹にあり、傾斜が約60度のトロコケケーブルに5分ほど乗りましたが、杉林の中を登り、スリリングな体験でした。  
最後は、天川大辨財社にお参りし、「黒滝村道の駅」でお土産などを買い求め、夕方5時近くに美原、そして三国ヶ丘駅前に無事戻ってきました。



『シルバーさかい』150号の発行にあたり

あけまして  
おめでとう  
ございます

今年、『シルバーさかい』は創刊40周年を迎えました。年2回発行でスタートした会報は、このたびの冬季号が150号になりました。これを機に現存する会報をもとに、その変遷をたどってみました。

秋季(45)号①は平成10(1998)年10月発行の8ページ。大きさは現在と同じA4判で表紙のみがカラー。表紙の写真は会員による撮影です。

新年(98)号②はオールカラーで最多の20ページ。平成24年(2012)年1月発行で、当センターの「設立30周年特集号」として、表紙は大仙公園で育つ当センターの記念樹「フクロウの樹」を掲載しています。

夏季(100)号③は平成24(2012)年7月発行。本部事務局が



①



②



③

北区赤畑町から現在の西区に移転、6月25日オープンを記念して表紙は建物の紹介です。秋季(117)号④と新年(118)号⑤から新たな紙面作りがはじまりました。

平成8(2016)年10月発行の秋季(117)号から、業者委託をやめて会員がすべてを担っています。これにより全ページがオールカラーになり、次の新年(118)号から文字を大きくした12ページ体制が定着しました。

春季(147)号⑥は2024年4月発行。横書き紙面が読みやすい”との声を反映して、紙面は横



④



⑥

書き(俳句・短歌・川柳は除く)に、「左綴じ左開き」になりました。このように「会報づくり」では、常に工夫と改善が求められますが、先ごろ開催された「地域推進会議」と「就業機会拡大会議」で、「左綴じ左開きが不評」との報告を受け、編集部会は協議の結果、ご要望に応じて150号から元の「右綴じ右開き」に戻しました。これからも「皆さまに愛読される会報」を目指しますので、よろしくお願い致します。

(編集部会一同)

切り取り線

会員紹介カード

会員 No. \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

会員になりたい方を紹介してください!

当センターでは、会員紹介に関する報奨制度を設けています。

お知り合いの方やご近所の方に、ぜひ当センターへの入会をお勧めしてください。左記の「会員紹介カード」にあなたの会員番号と氏名を記入し、入会したい方にお渡しください。

受け取った方が、入会説明会か入会研修会に持参の上、入会された場合、事務局より粗品をお送りしています。

